

令和4年6月6日

報道機関 各位

血液使用量がピーク!

5月の献血 1,000 人減少、輸血用血液の安定確保待ったなし。

現在、九州・沖縄において、大量出血を伴う手術や不測の事故等が相次ぎ、医療機関で輸血用血液の使用が急増しています。5月の医療機関への血液供給数は昨年よりも 400mL で約 1,780 本増加と異例のピークが続いています。

一方、献血数は約 1,000 人減少しており、医療機関への血液供給との差が広がってきています。今後、本格的な梅雨・台風の時期に入ると献血者の確保がさらに厳しい状況が推測され、現在の状態が続くと、医療機関への血液供給に支障をきたすことが危惧されますので、県民の皆様、特に献血をしたことがない方、献血がお久しぶりの方へ「連帯」による助け合いの必要性、献血へのご協力を呼びかけるため、献血の現状や献血協力の要請についてご取材いただきますようお願いします。

なお、献血ルーム「カリーノ」では、このような状況を踏まえ、6/11（土）から 6/17（金）の期間、全血献血の受付時間を 30 分延長（17:20⇒17:50）し、献血者の確保を行います。

5月の県別血液需給状況（単位：400mL 換算）

	献血数			供給数		
	昨年	今年	増減	昨年	今年	増減
福岡	13,020	12,985	-35	11,233	11,813	580
佐賀	1,665	1,612	-53	1,567	1,399	-168
長崎	2,993	3,250	257	2,997	3,340	343
熊本	4,483	4,110	-373	3,980	4,349	369
大分	3,057	2,933	-124	2,325	2,470	145
宮崎	2,441	2,266	-175	2,235	2,414	179
鹿児島	3,837	3,783	-54	3,938	4,291	353
沖縄	3,428	2,973	-455	3,150	3,128	-22
計	34,924	33,912	-1,012	31,425	33,204	1,779

6月14日の世界献血者デーは血液という「いのちを救う贈り物」をくれる献血者の皆様に感謝するとともに、血液製剤を必要とする患者様のために献血が欠かせないことを知ってもらう日となっております。

今年のスローガンは「Donating blood is an act of solidarity. Join the effort and save lives」となっており「団結、連帯」をテーマしております。「団結、連帯」による助け合いが必要となることを伝えます。

献血は不要不急の外出にはあたりません。

献血会場では新型コロナウイルスの感染予防を徹底しております。

※ご予約なしの献血も受付けておりますが、献血をされる方が同じ時間に集中することを避けるため、可能な限り事前のご予約をお願いしております。

ラブラッド会員の方は<[ネット予約](#)>が可能です！ また電話予約も可能です！

問合せ先 宮崎県赤十字血液センター 献血推進課 清田
TEL : 0985-50-1800
Mail: m-kiyota@qc.bbc.jrc.or.jp